

高知県の外国人延べ宿泊数の推移（平成29年-平成30年）

令和元年11月25日 高知県おもてなし県民会議国際観光受入部会

資料1

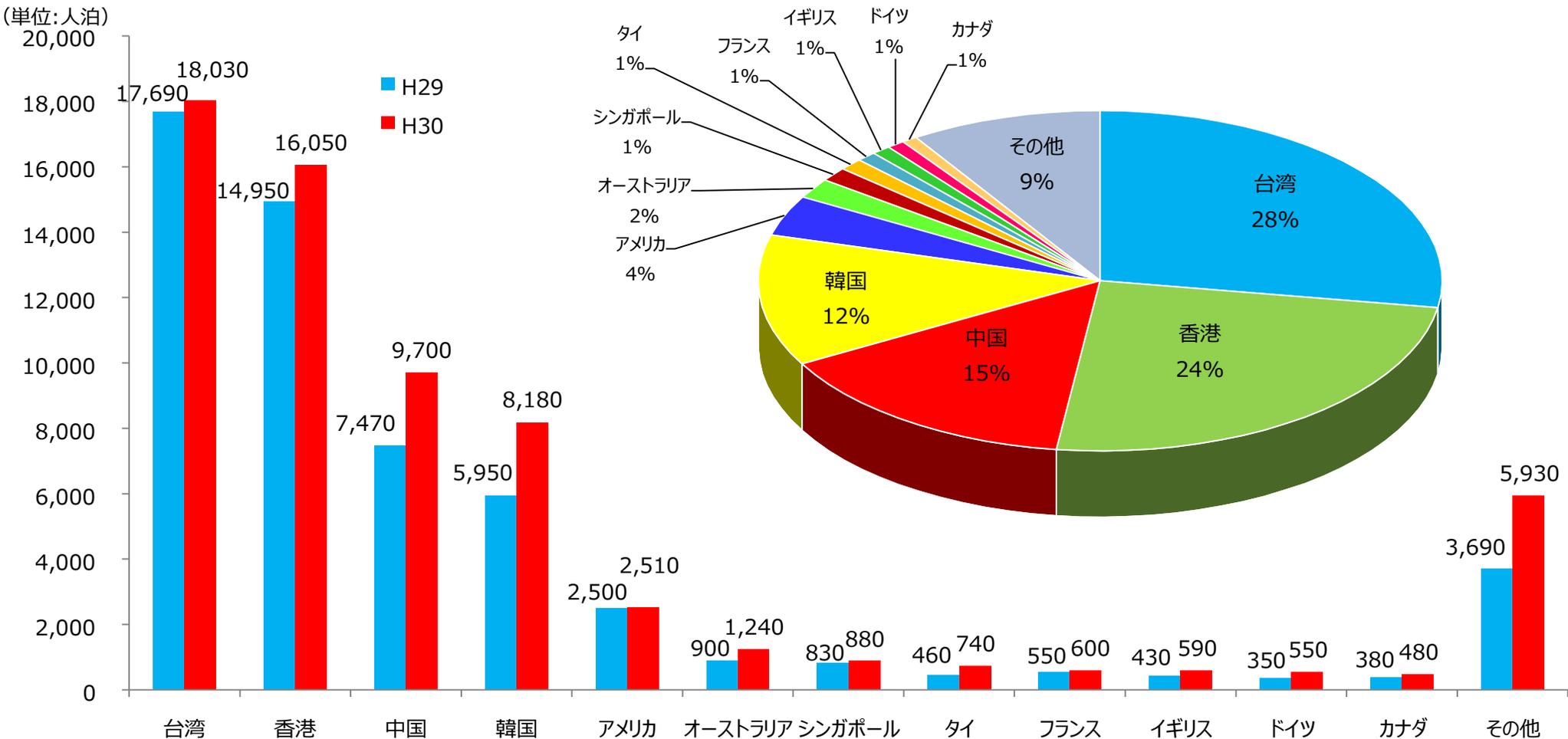


【従業員数10人未満の宿泊施設を含む】

H25年	24,820人泊
H26年	38,590人泊 (伸び率 55.5% (全国伸び率 33.8%))
H27年	65,890人泊 (伸び率 70.7% (全国伸び率 46.4%))
H28年	75,400人泊 (伸び率 14.4% (全国伸び率 5.8%))
H29年	75,410人泊 (伸び率 0.0% (全国伸び率 14.8%))
H30年	79,160人泊 (伸び率 5.0% (全国伸び率 18.3%))

※参考【従業員数10人以上の宿泊施設のみ】

H25年	20,830人泊
H26年	30,340人泊 (伸び率 45.7% (全国伸び率 34.7%))
H27年	44,890人泊 (伸び率 48.0% (全国伸び率 43.8%))
H28年	55,700人泊 (伸び率 24.1% (全国伸び率 5.9%))
H29年	63,240人泊 (伸び率 13.5% (全国伸び率 13.8%))
H30年	65,480人泊 (伸び率 3.5% (全国伸び率 14.6%))



(観光庁/宿泊旅行統計調査暫定値・※国別データは従業員が10人以上の宿泊施設のみ)

これまでの取組の成果

- H30年度より、台湾、香港、シンガポール、タイの4市場において、旅行業界に精通した現地セールス拠点（レップ）を設置し、セールスを強化（旅行会社・航空会社・メディアへのセールス、メディア等招請、情報交換会の実施、旅行博・商談会への参加、研修旅行セミナーの開催）
- 外国人向け観光情報サイト「VISIT KOCHI JAPAN」等による情報発信を強化
- 海外旅行博や商談会への出展や、ファムツアーの受入れによるセールス活動を実施

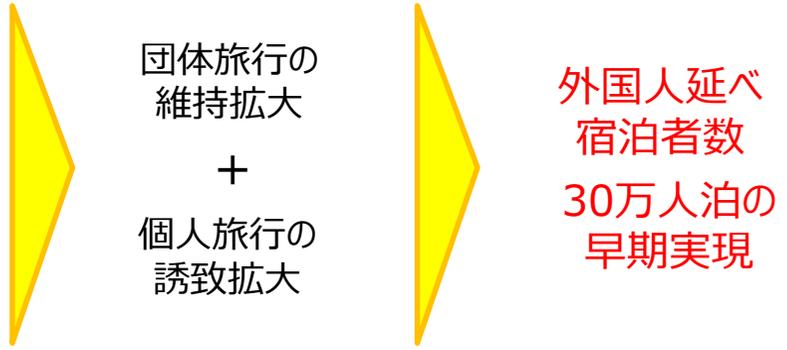
さらなる外国人延べ宿泊者数増加に向けた課題

- ① 海外セールス拠点の拡充
- ② チャーター便の誘致増
- ③ 個人旅行者の誘致拡大
- ④ 海外市場向けのゲートウェイコンテンツづくり

<H31年度の取組強化ポイント>

海外セールス拠点のフル活用

- 団体旅行
 - ・定番商品の催行率のアップ
 - ・新規商品の造成
- 個人旅行（FIT）
 - ・新規商品の造成
 - ・メディアによる情報発信
- チャーター便の誘致
 - ・台湾・韓国・中国
- 外国人向け情報発信ウェブサイト「VISIT KOCHI JAPAN」
 - ・コンテンツの充実及びウェブ広告の実施
 - ・外国人目線でのSNS発信
 - ・リニューアルの実施 等
- 四国DMOによる四国へのインバウンド誘致の強化、四国のブランディングの強化



	H28	H29	H30	H31/R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
産振目標	7.6万人泊	9.2万人泊	12.3万人泊	14.8万人泊		22万人泊		30万人泊		30万人泊
現状 (従業員数10人未満含む)	75,400人泊	75,410人泊	76,100人泊 (速報値)							
前年比	114.4%	100.0%	100.9%							

注: 産振目標は第3期（H30）から第4期（R3）に分割されている。R5の30万人泊はR7の30万人泊を2年間で前倒しする目標である。